



太古の地球の岩石が現れている信仰の滝  
塩滝の礫岩



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	しおたきのれきがん
所在地	真庭市関・佐引
指定年月日	昭和34年9月15日
解説	大野呂山を源とした溪流の中ほどに塩滝があり、蛇紋岩礫(じゃもんがんれき)(※)を主とする屏風岩が現れている。滝壺の周りには、行者堂、石仏、大師めぐりの石像があり、信仰の場としても活用され、その昔、行者が水垢離を行い、その肩から散る水しぶきが塩の花のように見えたことから、「塩滝」の名がついたと伝えられている。(※蛇紋礫岩とは、地球の火山活動が活発だった頃に形成された地質学的にも貴重な奇岩。)
アクセス方法	JR美作落合駅より車で30分
公開状況	自由 / 問:真庭市役所落合支局 0867-52-1111
設備	塩滝公園 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	塩滝の礫岩
よみかた	しおたきのれきがん
しょざいち (所在地)	真庭市関・佐引
していたひ (指定した日)	昭和34年9月15日
せつめい	塩滝(しおたき)という滝に「じゃもん岩(がん)れき」という岩石(がんせき)のできた崖(がけ)があります。この「じゃもん岩れき」とは、地球(ちきゅう)の火山活動(かざんかつどう)が活発(かつぱつ)だったところに形成(けいせい)されたものです。